

話し合いのしかたグレードアップ！よりよい学級会 part 2

中心学習材「よりよい学級会をしよう」（光村図書4年上巻）

補助学習材「話し合いのしかたグレードアップ！」（自作）

<育てたい主となる能力>

◎互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。（話・聞オ）

<単元を貫く言語活動>

◎学級会で意見をまとめる話し合いをする。

1 子どもと単元について

子どもたちは、1学期に話すこと・聞くことの学習「話し合いのしかたについて考えよう！よりよい学級会 part 1」で、司会者や提案者、参加者の役割を理解し、互いの意見とその理由の共通点や相違点に気を付けながら、目的や条件に合わせて意見を一つにまとめる話し合いの仕方を学習した。この学習を通して子どもたちは、それぞれの役割が分かり、話し合いの流れに沿って個々の意見を出し合い、比べ合い、意見をすり合わせて合意し、一つの意見に決めることができるようになった。同時に、出された意見に反対ばかりしていたり、話し合いの筋道から外れて話し合ったりすると、なかなか決めることができないことも経験している。この話し合いで決定した「二年生との遊び」を成功させたことで、話し合い活動に意欲を高めている。

中心学習材「よりよい学級会をしよう」は、話し合いに必要な役割とその仕事を確認する導入で扱う。補助学習材「話し合いのしかたグレードアップ！よりよい学級会 part 2」（自作）は、出された意見を整理したり、話し合いの道筋からそれたときに修正したりする力を付けるために準備した学習材である。小グループのロールプレイを行いながら、学級会の司会者や参加者の練習をし、実の場に生かすことができるのである。また、話し合いの仕方を学ぶために、話題「四学年読書祭りの出し物を決めよう」で学級会の学習を行う。学年読書祭りは、全校の友達にいろいろなジャンルの本を紹介し、ともに読書の楽しさを味わおうという目的がある。読書は、子どもたちが大好きな活動であり、学級で一つの出し物を決めるという話し合いには、目的に適した意見とその理由を出し合い、共通点や相違点を整理して、一つに決める力を育てていくことができると考える。

指導に当たって、次の二点を大切にす。一つ目は、「意見を整理する」ということや「話し合いの道筋からそれない」ということを一人一人が体感することで自分の力となるようにすることである。そのために、ロールプレイでは、小グループで役割を交代して何度も練習し、同じ意見をどのようにまとめて整理するのか、違う意見はどのように振り分けるのか、道筋からそれた意見を修正するにはどうしたらよいのか等を体感させていきたい。二つ目は、自己評価や相互評価をし、振り返りながら話し合いの力を付けていくことである。学級会では、話し合いの途中に自分たちの話し合いを振り返る場面を設定し、話し合いのよさやそれまでの課題について考えることができるようにする。そして、自分たちで話し合うことができたという実感をもたせていきたい。そのために、役割に応じたワークシート、チェックシートを用いる。これらを通して、話題について意見とその理由の共通点や相違点を整理して、目的や条件を考えながら一つの意見にまとめる話し合いの力を高めていきたい。

2 単元の指導目標

- 目的や条件に合った内容を決めるために、進んで話し合おうとしている。 【関心・意欲・態度】
- ◎話題について意見とその理由の共通点や相違点を整理し、司会者や提案者、参加者などの役割を果たしながら、進行に沿ってよりよい意見にまとめる話し合いをすることができる。 【聞くこと・話すこと オ】
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ（ア）】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○目的や条件に合った内容について考え、進んで話し合おうとしている。	◎話題について意見とその理由の共通点や相違点を整理し、目的や条件を考えながら、一つの意見にまとめる話し合いをしている。	○話し合いを進める言葉や意見を述べる話し方を理解し、使っている。

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

前単元「話し合いのしかたについて考えよう Part 1」（5月）
意見をまとめる話し合いの仕方と司会者や参加者の役割を学び、学級会をして話し合う。
（3時間）

- ① 話し合いのモデルを基に、司会者や参加者の役割について確認し、意見をまとめる話し合いのときに気を付けることを考える。
- ② グループに分かれて、意見とその理由、目的や条件に合わせた話し合いをし、お互いに教え合う。
- ③ 前時の話し合いを基に、話題について、学級全体で意見をまとめる話し合いを行い、話し合いの仕方と司会者や参加者の役割について単元を振り返る。

第1次
話し合いの問題点を出し合い、学習の見通しをもつ。
（1時間）

- ① 物事を決める話し合いの問題点を出し合う。話し合いのグレードアップの観点についてビデオを見て考え、学習の見通しをもつ。学級会の話題「四学年読書祭りの出し物を決めよう」について自分の考えをもつ。

<評価> _____

- ① 話し合いの問題点を出し合い、「意見の整理の仕方」「話し合いの筋道からずれたときの修正の仕方」という点について学習するという見通しをもっている。

《発言・ワークシート》

前単元の学習で学んだ話し合いの仕方の知識・技能を活用して、自分たちの話し合いの問題点について考える。

第2次
ロールプレイをグループで行い、役割ごとに気を付けることを学ぶ。
（2時間）

- ②③ ロールプレイを行い、意見とその理由、目的や条件に着目した意見の整理の仕方や、話し合いの筋道からずれたときの修正の仕方についてグループに分かれて学ぶ。

<評価> _____

- ②③ それぞれの役割を果たしながら、意見とその理由、目的や条件に着目した意見の絞り方や話し合いの修正の仕方について気を付けながらロールプレイを行っている。

《ロールプレイの様子・ワークシート》

第2次の学習で学んだ話し合いの仕方の知識・技能を活用して、学級全体で話題について話し合う。

第3次
学級会で意見をまとめる話し合いを行い、単元の振り返りをする。
（2時間）

- ④ 前時の話し合いを基に、話題「四学年読書祭りの出し物を決めよう」について、意見をまとめる話し合いを行う。（本時）
- ⑤ 意見とその理由、目的や条件に着目した意見の整理の仕方について学習を振り返る。企画展の準備をする。

<評価> _____

- ④ それぞれの役割を果たしながら、互いの意見とその理由の共通点や相違点を考えて整理し、よりよい意見にまとめる話し合いをしている。
- ⑤ 意見の整理の仕方について単元を振り返り、それぞれの役割で使える言葉や身に付けた力を確かめている。

《話し合いの様子・ビデオ・ワークシート》

【国語科活用場面】

- 自分の考えをまとめて討論する。（5年「豊かな言葉の使い手になるためには」）

【学級活動・

日常生活場面】

- 意見の整理の仕方と板書の仕方に気を付けて、意見をまとめる話し合いをする。

学級活動
「四学年読書祭り」
を実行する。

5 本時の指導

(1) ねらい

話題「四学年読書祭りの出し物を決めよう」の内容とその理由について共通点や相違点を考えて整理し、目的や条件に着目して意見を一つにまとめる話し合いをすることができる。

(2) 基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語活動

前時までの学習では、司会者や参加者の役割をロールプレイすることで、意見の出し方やつなげ方、修正の仕方など、意見をまとめる話し合いの仕方について理解することができた。本時では、その知識・技能を生かし、話題「四学年読書祭りの出し物を決めよう」について互いの意見や理由の共通点や相違点を整理し、目的や条件に着目しながら意見を一つにまとめる学級会を行う。

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導の手立てと評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>どんな出し物がいいか、わけに気を付けて話し合おう。</p>		<p>○意見を一つにまとめることができるように、自分の理由と出された意見の理由を比べながら聞き、目的や条件に一番ふさわしいものは何かを考えながら話し合うことを確認する。</p>
<p>2 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 児童が進行役をして、話題「四学年読書祭りの出し物を決めよう」の内容を何にするか、話し合う。</p> <p><前半></p> <p>①個々に意見(内容と理由)を出し合う。</p> <p>②出し合った意見の理由に着目して、目的や条件にあう内容にまとめる話し合いをする。</p> <p>(2) 前半の話し合いの振り返りをする。</p> <p>(3) 目的や条件にふさわしいものを比べ合いながら話し合いの続きをする。</p> <p><後半></p> <p>③比べ合いながら、意見を一つにまとめる。</p> <p>④決まった意見を確認する。</p>	<p>○意見をまとめる話し合いで大切なこと</p> <p>司会者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて発言を整理すること <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由を詳しく聞くこと(似ている・違う) ・目的や条件に一番合うものを考えること <p>○前半の話し合いについて振り返ること。</p>	<p>○司会者2名、提案者1名、黒板書記2名で学級会を行う。</p> <p>○司会者には、話し合いの進行のてびきを持たせる。また、学級会の話し合いの流れが「出し合い→比べ合い(質問→賛成・反対意見)→合意」であることを、始めに確認させるようにする。</p> <p>○参加者には、話題について自分の考えと理由を三つずつ考えさせておく。その中から自分にとって一番の意見と理由を一つ出し合うことで、意見の比較がし易いようにする。</p> <p>○前半の話し合いをグループで振り返り、いくつかの意見から一つに絞るためには、目的に合う意見とそうでないものを整理し、その中から再度目的や条件に一番合うものを選ぶとよいことを確認する。</p> <p>○話し合いが止まったとき、時間をとって周りの人と相談する時間を設けることを司会者に気付かせる。</p> <p><評価>司会者や参加者の役割を果たしながら、互いの意見の共通点や相違点を整理し、よりよい意見にまとめる話し合いをしている。</p> <p>【話し合いの様子・ビデオ・ワークシート】</p> <p>○決まった意見とその理由について司会者が確認し、目的や条件に合うものを決められたことまとめさせる。</p>
<p>3 意見をまとめる話し合いについて振り返る。</p> <p>(1) 話し合いの参加の様子について自己評価をする。</p>		<p>○司会者と参加者の役割に応じて振り返りをさせる。</p> <p>○よりよい話し合いができたことを価値付け、話し合いを振り返る。</p>